

大阪では、高齢者を狙った 特殊詐欺被害が急増しています！

～還付金詐欺などの詐欺被害の未然防止～

スーパーのお客さんと、店員さんの連携による高齢者への「積極的な声かけ」により、還付金等詐欺被害を未然に防止した好事例がありましたのでご紹介します！

銀行職員を名乗る犯人からある高齢者に「お金をATMで返金します。近くのスーパーにあるATMに着いたら電話をしてください」との電話があり、その高齢者はATMの前で携帯電話を使用し連絡しました。その様子を見て不審に思ったスーパーのお客さんが、店員さんに「還付金詐欺ではないですか」と声をかけ、店員さんは、高齢者に積極的に声をかけて、確かめたところ還付金詐欺被害に遭っていたことが判明し、被害を未然に防止しました。

実際にあった話です！



地域の安全・安心まちづくりは、 地域のみなさまの力が重要です！

ATMの前で携帯電話を使用している高齢者がいたら、特殊詐欺の被害者かもしれません！
お気付きの際は、積極的な声かけをお願いします！

- ※コンビニやスーパー、金融機関の職員がいない無人のATMに被害者を誘導する還付金等詐欺が大幅に増加しています。還付金等をATMで返金することは**絶対にありません**。
- ※特殊詐欺とは、被害者に電話をかけるなどして、対面することなくだまし、指定した預貯金口座への振込その他の方法により不特定多数の者から現金をだましとる犯罪の総称です。



問合せ 安全安心企画 1階⑧番 ☎4809-9819
東淀川警察署 生活安全課防犯係 ☎6325-1234(内線263)

大阪市消費者センターからのお知らせ

特に寒い季節にはご注意ください。

おもちをのどに詰めないで

- お正月にはおもちをのどに詰める事故がたくさん起きています。高齢になると、噛む力や飲み込む力が低下し、食べたものがスムーズに飲み込みにくくなるので、注意してください。
- おもちを食べるときは、小さく分けて、食べやすい大きさにしましょう。
- あわてて飲み込まずに、ゆっくりとよくかんで、だ液とよく混ぜ合わせて食べるのが大切です。
- 家族や周囲の方も、食事の様子から目を離さないようにしましょう。



低温やけどにご用心

- カイロやこたつ、電気毛布など、暖かく感じる程度の温度でも、長時間皮膚が接することによって「低温やけど」を起こすことがあります。高齢者は同じ姿勢を続けることが多く、熱さを感じにくくなっているため、深くまでやけどが進んでいることがあり、特に注意が必要です。
- 低温やけどを防ぐためには、長時間同じ場所を温めないようにしてください。
- 低温やけどは痛みも少なく、一見軽そうに見えますが、見た目より重症の場合があります。早めに医療機関を受診しましょう。



電気ストーブによる火災に注意！

- 寒くなるとストーブによる火災が急増します。電気ストーブ類は、炎が出ないので安全に見えますが、熱があるので火災の危険があります。
- ストーブの近くに布団・衣類や雑誌などがあると接触して火がつく危険があります。ストーブの周囲には物を置かないようにしてください。
- 寝るときや、その場を離れるときは、必ずスイッチを切るようにしましょう。使用しないときは電源プラグをコンセントから抜いておくことも予防につながります。



問合せ 大阪市消費者センター 消費生活相談専用電話 ☎6614-0999(10:00～17:00 年末年始を除く)